

白浜町 議会だより

No.61

令和3年(2021)8月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



CONTENTS

■ 令和3年第2回定例会、第1回臨時会	P. 2～6
■ 可決した決議	P. 7
■ 一般質問	P. 8～11
■ 政務活動費の収支状況報告	P. 12
■ 町議会・議長の主な動き	P. 13
■ 次回定例会日程など	背表紙

(日置保育園プール開き)

▷▷ 令和3年第2回定例会 (6月8日～6月23日)

第1日

- 6月8日【 開会、町長挨拶、提案理由の説明 】
- ・会期の決定
 - ・議案の提案理由説明 (報告4件、物品購入契約1件、条例改正等4件、補正予算4件)

第2・3日

- 6月17日【 一般質問 】
- ・小森議員、長野議員、溝口議員、水上議員
- 6月18日【 一般質問 】
- ・堅田議員、松田議員、南議員、廣畑議員 《P8～P11に内容記載》

第4・5日

- 6月22日【 議案審議 】
- ・議案審議 (報告3件、物品購入契約1件、条例改正等4件、補正予算4件)
- 6月23日【 提案理由の説明、議案審議、閉会 】
- ・追加議案の提案理由説明 (人事案件14件)
 - ・議案審議 (報告1件、人事案件14件)
 - ・委員会発議案件 (規則改正1件、条例改正1件、閉会中の継続調査申出1件、閉会中の継続審査申出1件)

□ 条例改正

○白浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い改正

○白浜町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正に伴い改正

○白浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い改正

○白浜町議会議員及び白浜町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

公職選挙法の一部改正により、町議会議員選挙及び町長選挙における選挙公営に関する条例を制定

□ 物品購入契約の締結

○高規格救急車積載資機材(日置川消防署)に係る物品購入

【契約金額】

1,396万円

【契約相手】

和歌山市手平3丁目8番43号
株式会社 大黒
代表取締役 堀井 孝一

▽ 自治功労者表彰

5月12日の和歌山県町村議会議長会理事会において、廣畑議員、長野議員が議員として11年以上在職し、地方自治功労者として表彰されましたので、定例会初日の冒頭で伝達式を行いました。



□補正予算

○令和3年度白浜町一般会計補正予算(第2号)

・既定予算への補正額

3億2,010万円

・補正後の歳入歳出予算総額

120億2,230万円

主な補正内容は次のとおり

【総務費】

・コミュニティ助成金

250万円

・選挙活動費用負担金

1,465万円

【民生費】

・生活応援商品券配布事業

1億1,968万円

・子育て世帯生活支援特別給付金事業

1,795万円

【衛生費】

・新型コロナウイルスワクチン接種事業

3,893万円

【農林水産業費】

・土地改良施設維持管理適正化事業

500万円

・森林環境整備委託事業

120万円

・椿はなの湯施設整備事業

130万円

【観光費】

・志原海岸緑地整備事業

2,100万円

・中小企業信用保証料補助金

2,200万円

【土木費】

・町道吉田線改良事業

3,903万円

・道路附属物等長寿命化修繕事業

581万円

【消防費】

・消防団屯所整備事業

240万円

【教育費】

・スクールバス購入事業

361万円

・旧川添中学校等解体工事設計委託事業

400万円

・小中学校電子黒板整備事業

900万円

・幼稚園感染症対策用品購入事業

100万円

○令和3年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

▲436万4千円

・補正後の歳入歳出予算総額

28億6,963万6千円

○令和3年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

57万1千円

・補正後の歳入歳出予算総額

32億957万1千円

○令和3年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

▲76万9千円

・補正後の歳入歳出予算総額

8,873万1千円

□農業委員会委員の任命同意

次の方の任命に同意した。(敬称略)

・藤原 久恵(白浜)

・楠本 徹男(才野)

・栗栖 一(栄)

・杉谷 孫司(栄)

・鈴木 隆文(内ノ川)

・柏木 彰文(富田)

・後呂 豊(日置)

・木戸 孝(安宅)

・南 喜久治(安宅)

・小野 真一(田野井)

・尾崎 義治(口ケ谷)

・本田 勉(口ケ谷)

・市川 博(安居)

・清水 哲治(市鹿野)

令和3年第1回臨時会

令和3年第1回臨時会は、5

月14日招集、1日間の会期で開

催した。新型コロナウイルス感

染症対策に関する補正予算1件、

条例改正等、当局から提案され

た案件、委員会発議案件につい

て審議し、すべて可決、承認した。

また、新型コロナウイルス感

染症対策に関する決議が南議員

から提出され、討論、採決の結果、

全会一致で可決した。(7頁参照)

□補正予算

○令和3年度白浜町一般会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

5,720万円

・補正後の歳入歳出予算総額

117億220万円

主な補正内容は次のとおり

【総務費】

・避難所感染症防止対策事業

200万円

【観光費】

・白浜町事業継続支援金事業

5,300万円

・事業者支援制度相談窓口設置事業

220万円

Pick up!

生活応援商品券配布事業

【新型コロナウイルス感染症対策】

全町民に5千円分の商品券を配布

新型コロナウイルス感染拡大により、経済的な負担が増している町民の生活を応援するため、全町民一律に期限付きの商品券を配布し、町内での消費の喚起を図り、地域経済の振興及び生活の支援を図ります。



○配布対象者

令和3年8月1日時点で、白浜町の住民基本台帳に記録されている方

○配布額

1人につき、町内で使用できる商品券を5千円分(5百円×10枚)

○配布方法

特別な事情がある場合を除き、同居世帯員分を一括して世帯主に郵送

○配布スケジュール

郵送開始…令和3年9月上旬
使用期限…令和4年1月末

○取扱店舗

白浜町商工会、日置川町商工会
商品券取扱店に加え、その他取扱店舗を募集のうえ決定

Pick up!

子育て世帯生活支援特別給付金事業

【新型コロナウイルス感染症対策】

児童一人当たり5万円給付

○給付対象者①（申請不要）
令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の受給者であり、令和3年度分の住民税均等割が非課税である方
※ただし、ひとり親世帯分の給付金の受給者を除く。

○給付額

児童1人当たり5万円

○給付時期

令和3年7月下旬

○給付対象者②（要申請）

(1)平成15年4月2日から平成18年4月1日までに出生した児童を養育している家庭で、所得の多い養育者の令和3年度分の住民税均等割が非課税である方

(2)平成15年4月2日以降に出生した児童を養育している家庭であり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和3年度分の住民税均等割が非課税である方と同様の事情にあると認められる方（家計急変者）

○給付額

児童1人当たり5万円

○給付時期

申請書類提出後、随時



Pick up!

小・中学校電子黒板整備事業

900万円

3年間で全ての普通教室に電子黒板を配備

問 3年間で88台の設置目標があり、令和3年度導入予定の23台はどの学校から配備する計画としているか。

答 電子教科書のモデル校や児童生徒数等に応じて、校長会で導入順位を決定していく。

問 令和6年度のデジタル教科書本格導入に向けて電子黒板を導入することのだが、今年度の授業へ活用する予定は。

答 デジタル機器を授業のどの場面で活用するかなど、モデル校を指定して研究しており、研究の結果や、有効な取組みの情報を共有しながら検討していきたい。現在、通信速度を速める事業に取り組んでおり、デジタル化に伴う環境整備を合わせて進めていきたい。

簡単活用

忠実な色彩の再現

フラットパネルディスプレイのため明るい場所でも見えやすく、教室を暗くする必要がありません。授業の流れを止めることなく利用できます。

物理操作ボタンで直感的で簡単な操作

授業で使用頻度の高い機能を厳選してボタン化したコントローラーにより簡単に操作できます。

実物投影機との連携・比較

子どもたちのノートやワークシートを実物投影機で投影して撮影した後、簡単に比較したり、自在に大きさを変更したりすることができます。



Pick up!

幼稚園感染症対策用品購入事業 【新型コロナウイルス感染症対策】

感染症対策のための保健衛生用品の整備

○事業概要
新型コロナウイルス感染症対策のため、公立幼稚園2園で使用する保健衛生用品を購入。

○事業目的
新型コロナウイルス感染症対策の一環として、幼児教育のための環境整備を行い、子どもを安心して育てられる体制を整備する。

○予算額
100万円(うち国庫補助50万円)

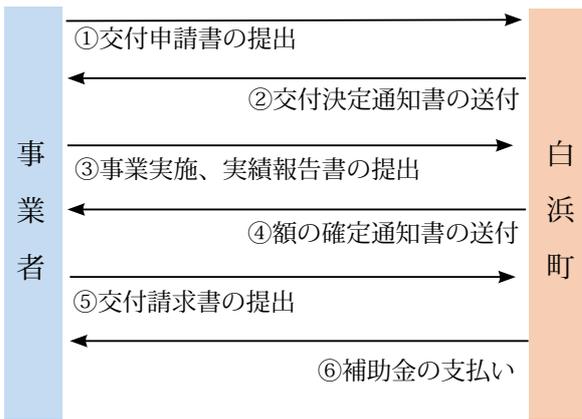


Pick up!

白浜町事業継続支援金事業 【新型コロナウイルス感染症対策】

従業員の規模に応じ支援金を給付

新型コロナウイルス感染症による影響を受け、事業活動に著しい支障が生じている事業者に対して事業の継続を下支えし、再起の支援を図るため、従業員の数に応じた給付金を支給。



問 補助対象事業者は商工会加盟事業者に限られるのか。

答 商工会に加盟している方だけでなく、白浜町内に事業拠点又は住所を有する、個人事業者や法人が対象となります。

問 事業規模に応じた具体的な給付金額と予定件数は。

答 従業員数に応じた給付金額と予定件数は次のとおりです。

- ・従業員0人～5人…5万円
- ・従業員6人～10人…10万円
- ・従業員11人～20人…15万円
- ・従業員21人～30人…20万円
- ・従業員31人～50人…25万円
- ・従業員51人以上…30万円

※合計で800件程度想定

Pick up!

中小企業信用保証料補助金 【新型コロナウイルス感染症対策】

保証料の3分の1を補助（上限60万円）

和歌山県中小企業融資制度において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業の資金繰りを支援するため、保証料を大幅に引き下げた融資枠の新設・拡充及び、セーフティネット保証の指定期間が延長されたことに伴い予算額を増額。

○対象となる中小企業者の要件

- (1) 資本金の金額若しくは出資の総額が3億円以下（小売業又はサービス業にあつては5千万円以下、卸売業にあつては1億円以下）又は常時雇用する従業員の数が300人以下（小売業にあつては50人以下、卸売業又はサービス業にあつては100人以下）の会社及び個人。
- (2) 町内に事業所等を有し、原則として1年以上同一事業を継続して営んでいる者。
- (3) 町税及び町の公共料金等を完納している者。ただし、町長が認める場合はこの限りでない。

○補助金の額

補助金の額は、融資を受けた者が保証協会に支払った保証料（借換資金に相当する保証料を除く。）に対し、保証料の3分の1以内の額。（上限60万円）

○制度概要

町内中小企業者の経営の維持安定及び地場産業の振興を図るため、和歌山県中小企業融資制度の利用に係る信用保証料の一部を町が補助する。

○対象融資

- ・経営支援資金
- ・小企業応援資金（一般枠）
- ・災害復旧対策資金

可 決 し た 決 議

5月14日に開催した臨時会において、南議員から「新型コロナウイルス感染症対策に関する白浜決議」の提出があり、提案理由の説明、討論を行い、採決の結果、全会一致で可決となりました。決議の内容等は以下のとおりです。

発議第1号 新型コロナウイルス感染症対策に関する白浜決議の提出について

提出者 白浜町議会議員 南 勝弥

賛成者 白浜町議会議員 楠本 隆典 白浜町議会議員 溝口 耕太郎

賛成○ 反対×	採決結果	堀	楠	廣	西	正	南	小	辻	松	溝	長	堅	水
		本	畑	尾	木	勝	森	成	田	口	野	田	上	
		匠	隆	敏	智	秀	弥	一	紀	剛	耕	莊	府	久
発議第1号 白浜町新型コロナウイルス感染症対策に関する白浜決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長(西尾智朗)は採決に加わりません。

新型コロナウイルス感染症対策に関する白浜決議

昨年1月に日本で初めて発症が確認された新型コロナウイルス感染症は、急速な勢いで全国に拡散し、今や第4波の感染拡大が猛威を振るうに至っている。

歴史上、人類は未知のウイルスとの闘いを繰り返してきたが、これほどまでの世界的流行は近代史上、極めて稀であり、憂慮すべき事態と表現するにふさわしい状況である。

日本国内においても、事態の収束が見通せない中、医療従事者や多くの関係者が、国民の生命、生活を守るため、不眠不休で患者の治療にご奮闘されており、心からの敬意と感謝を申し上げる次第である。

また、新たに広がり懸念される新型コロナウイルス感染症対策の変異株には、専門家からも従来の感染対策に加え、より一層の予防強化の必要性が指摘されており、昨年に引き続き実施する、国・県の指導に基づくわが町の新型コロナウイルス感染症対策にも更なる改善の必要性を感じる場所である。

このような中、住民の生命、生活を確実に守るため、タイムリーな政策を早急に打ち出し、危機感を持って実施しなければならない。

1日でも早く新型コロナウイルス感染症に打ち勝つことを目指し、行政、議会、住民の皆様の結束力を高め、諸施策の実現に向け満身の思いを込めて取り組むことを決意する。

以上、決議する。

令和3年5月14日

和歌山県白浜町議会

問 農業従事者の減少と耕作放棄地増加への対策は

答 農業法人の設立、後継者育成に努める

問 農業従事者の高齢化と減少に伴い、荒廃化と耕作放棄地が増加しているが、それらを解消するための具体的な対策について伺う。

答 現在、戸別所得補償といった国や県の補助制度を活用しているが、農業就業人口の減少を食い止めるには至っていない。今後、遊休農地を解消するための農業法人設立に向け、調査研究を進める。

世代人材投資資金を活用し、新規就農者の確保に努めているが、有田川町の農業経営継承者支援事業等を参考に、町独自の補助制度の検討を進めていきたい。

安居の渡し保存会の展望について

問 日置川の地域振興を担ってきた安居の渡し保存会活動について、地域文化の伝承を含めた今後の支援策等について町の見解を伺う。

答 安居の渡しは、熊野古道大辺路富田坂を下った安居の集落から仏坂へ日置川を渡る渡し舟で、古くから地域固有の文化や伝統の保持に寄与してきた。後継者の確保や利用者増加の方策提言に努める。



こもり かずのり
小森 一典 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(安居の渡し通行手形)

問 小山肆成顕彰公園の活用と周辺環境整備について

答 自然や歴史を活かし、地域活性化に繋げる

問 小山肆成顕彰公園内のトイレ新設に向けた取組みの経過と今後の取組みについて伺う。

答 日置川流域の公衆トイレの設置場所や優先順位等について令和2年度で協議を行い、現在、測量設計業務を実施中であり、令和4年度で工事費の予算計上を行う。

問 小山肆成顕彰公園の今後の活用と周辺環境整備について伺う。

答 先達の偉業を文化として確立し後世に伝えていくための情報発信について研究するとともに、日置川沿線の主要道路の整備を機会に、自然や歴史、施設を観光資源とした地域活性化に取り組みたい。

成人式について

問 成人式延期後の式典内容、日程等の予定について伺う。

答 新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種の状況を見極めながら、10月下旬頃に簡素化せず開催できればと考えている。

消防団の充実について

問 道路交通法改正に伴う団員の活動継続の為、準中型免許の取得及びオートマチック限定解除等に対する費用補助が必要と考えるが如何か。

答 消防団活動を停滞させることのないよう、県内の補助制度導入実績を参考に検討していきたい。



ながの そういち
長野 莊一 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(小山肆成顕彰碑)

問 新型コロナウイルスの今後のワクチン接種について

答 ワクチン供給に注視し、計画的に接種を進める

問 国が新型コロナウイルスワクチン接種対象年齢を12歳まで引き下げたことにより、白浜町の接種対象人数は何人となるか。また、小中学生の接種体制の確保について伺う。

答 65歳以上を含めた接種対象人数は約2万人となる。小学生等の集団接種については現在未定であるが、今後、体制確保に努めたい。

問 65歳以上の第1回目のワクチン接種の申込みで混乱を来したが、ワクチン接種状況の進捗を伺う。

答 ワクチン接種の電話予約に際して、大変なご迷惑とご負担をお掛けした。集団接種は計画的に行っており、2,550人が接種済みである。



みづぐち こうたろう 議員
溝口 耕太郎 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(ワクチン接種会場)

問 2回目の受付を開始しているが、これにより65歳以上の未接種者はどの程度解消されるか。また、接種に対する副反応について伺う。

答 未接種者約5,200人全員に案内を送付し、約3,500人の受付を完了している。また、接種後の重篤な副反応は発生していない。

防災対策について

問 災害発生時の高齢者施設等の防災・減災対策について伺う。

答 施設整備に対する補助制度の周知を行うことで対策を進めており、昨年で2件の活用実績があった。引き続き、情報周知に努める。

問 2025年問題と各分野の対策について

答 住み慣れた地域で安心して暮らせる町を目指す

問 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる、2025年問題を見据えた町の対策について伺う。

答 町で暮らす全ての方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、住民がともに助け合い、支えあう環境づくりに努めたい。

対話支援スピーカーや音声変換筆談機等の窓口設置について

問 障害者差別解消法の観点から、対話支援スピーカーや音声変換筆談機の導入、誘導・点字ボード等の設置について町の考えはどうか。

答 視覚・聴覚障害をお持ちの方への窓口対応では、見守りや声か

け、必要に応じて筆談を行うことで対応できていると考えている。

避難場所掲示板の管理と空港周辺の道路標識の表記について

問 学校に掲示する避難場所看板の劣化への対応について伺う。

答 経年劣化している看板については、適宜対応していきたい。

問 空港周辺道路標識の英語とローマ字表記の混在について伺う。

答 平成28年に和歌山県外国語表記ガイドラインが策定され、その後で設置された標識表記が未統一である。取替え等の機会に統一に努める。



みづかみ くみこ 議員
水上 久美子 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(道路標識と劣化した避難看板)

問 快適で安心安全なまちづくりのための防災とは

答 地域防災課を設置、総合的な防災力を強化する

問 令和3年4月に新設された地域防災課内に配置されている各係の具体的な業務内容について伺う。

答 防災まちづくり係では、大規模災害に備えた各種計画の策定や備蓄物資等の管理などソフト面の業務を主に行っている。地域防災推進係では、津波避難タワーや防災行政無線等の施設整備や各自主防災組織との連携、防犯、交通安全施策などの業務を行っている。

問 改正された災害対策基本法の具体的な改正内容について伺う。

答 災害時に発令する避難情報の発令基準が改正され、警戒レベル4に混在していた避難指示と避難



(避難情報の発令基準)

勧告が一本化され、全員避難を呼びかける「避難指示」となった。

問 富田川洪水ハザードマップは作成されているが、過去に大雨で白浜駅の線路を冠水させた安久川のハザードマップは作成されていない。流域住民からは不安の声があるが、作成予定等について伺う。



かたた あつし 議員
堅田 府利



QRコードの有効期限は9月下旬まで

答 県が随時、洪水浸水想定区域図を策定しており、安久川の洪水浸水想定区域図が策定されれば町においてもハザードマップを作成していく考えである。

問 シカ等の飛び出しによる交通事故防止について

答 国や県と連携し事故防止対策を検討する

問 シカ等の飛び出しによる人身事故や交通事故の防止として、富田地区から日置区間の幹線道路沿いにシカ等の飛び出し注意喚起看板の設置等の対策をしてはどうか。

答 道路管理者である紀南河川国道事務所や県と連携し、ドライバーへの注意喚起も含めた有効な対策を検討していく。

職員の人員適正化と住民サービスについて

問 令和3年4月1日現在の職員数は、白浜町定員適正計画の数値目標からみて適正であるか伺う。

答 ここ数年予期せぬ退職者が増加



(動物等の飛び出し注意看板)

し、職員数が大幅に減少しているが、住民サービスの低下に繋がらないよう今年度の職員採用計画で適正な職員数の確保に努めたい。

問 水道事業など技術職不足が課題と考えるが、中長期的な技術の継承を目的に、募集要項の緩和や臨時的な採用制度等の対策について町の考えはどうか。



まつだ たけはる 議員
松田 剛治



QRコードの有効期限は9月下旬まで

答 技術職員の不足は課題であるが、臨時的な採用は準備期間等の課題から実施が困難である。中長期的な視点に立った採用計画に基づき、人員不足の解消に努めたい。



みなみ かつや
南 勝弥 議員

QRコードの有効期
限は9月下旬まで



また、議決に関する説明責任については、議決事項に関わらず、今後、十分な説明、予算の執行に努めて参りたい。

答「議決は議員を拘束する」という町の考えは、表現の自由の束縛や、議員個人の主張を法的に制限するものではなく、多数決の原理

に従った議会の統一した意思として、議決はある意味で議員を拘束する部分もあるという認識をお願いしたものである。

問「議員は議決の宣言があった時から成立した議案に従い議員を拘束する。議決の意義を考えてほしい」と町は訴えているが、議員は議決にあたり色々な事をチェックし、行政に正確な説明を求めているが、誠意ある説明をせず、根拠に乏しい数字を出して議決された事もある。また、保育園移転議決を執行しなかったり、一度議決した官有地払下げの価格の変更を行うなど、町は議決に関する説明責任についてどのように考えているのか伺う。



(白浜町議会 議場の風景)

問

議決に関する説明責任について

答 説明責任を重く受け止め、十分な説明に努める

問

デジタル機器だけに頼らない町独自の教育について

答 ICTに加え、教科書で学べない体験学習も重要

問 パソコン、スマートフォン、タブレットなど情報通信技術の普及により、ドライアイ、斜視などが子ども達に発生し、機器のブルーライトによる眼精疲労が進むと言われている。また、電磁波による身体への影響も危惧されるが、どのように生活指導を行っていくか。

答 国の指針やガイドブック等を参考に、ブルーライトや電磁波が子どもの健康を害することがないよう、ICT機器を安全かつ適切に利用していく。また、生活習慣に関する調査を実施することで、生徒自身が生活を振り返る機会を設け、不規則な生活に対しては計画的に生活指導を行うなど、児童の心身の育成に取り組んでいる。



(児童・生徒が一人一台利用するノートパソコン)

問 デジタル機器だけでなく、紙媒体の活用や、直接体験教育など、町独自の教育についての考えは。

答 学校教育の中でツールとしてICTが必要不可欠となっている部分もあるが、体験学習など、教科書では学べない、生きた学習も非常に重要であると捉えている。

▷▷ 政務活動費の収支状況報告（令和2年度分）

政務活動費とは、「白浜町議会政務活動費の交付に関する条例」によって、議員の調査研究等の活動に必要な経費として交付されるものです。年度当初に議員ひとりにつき、年額18万円を一括交付し、残余金が生じた場合は返還しなければなりません。

※令和3年度から交付方法を年度当初一括交付から、年度末の一括精算後払いに変更しています。

（単位：円）

項目 議員名	調査研究費	研修費	広報・広聴費	陳情等活動費 要望・	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費	その他	合計	返還額
堀 匠	0	52,140	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,140	127,860
楠本 隆典	0	6,000	31,800	0	0	0	80,433	0	69,437	0	0	187,670	0
廣畑 敏雄	0	0	56,417	0	0	0	37,116	0	3,390	0	0	96,923	83,077
西尾 智朗	0	0	0	0	0	0	37,166	0	0	0	0	37,166	142,834
正木 秀男	107,227	0	0	0	0	0	21,600	0	73,575	0	0	202,402	0
南 勝弥	0	0	0	0	0	0	74,561	0	72,425	0	0	146,986	33,014
小森 一典	0	0	0	0	0	0	40,800	0	0	0	0	40,800	139,200
丸本 安高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	180,000
辻 成紀	0	74,313	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74,313	105,687
松田 剛治	0	52,140	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,140	127,860
溝口 耕太郎	0	0	73,755	0	0	0	40,800	0	63,056	0	0	177,611	2,389
長野 莊一	0	69,293	0	0	0	0	57,202	0	0	0	0	126,495	53,505
堅田 府利	0	52,140	0	0	0	0	36,408	0	0	0	0	88,548	91,452
水上 久美子	66,793	29,408	0	0	0	0	60,266	0	31,065	0	0	187,532	0

▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き（4月～6月）

4月1日	阪田祭祀遺跡式典
6日	春の交通安全運動出陣式
9日	聖火リレーミニセレブレーション 中地区津波避難ビル地鎮祭
11日	中地区津波避難タワー竣工式
14日	議員定数等検討特別委員会 議会広報特別委員会 観光建設農林常任委員会
21日	田辺周辺広域市町村圏組合議会
28日	日置地区津波避難タワー竣工式 公立紀南病院組合議会
5月7日	議会運営委員会
14日	第1回臨時会 全員協議会 議員定数等検討特別委員会 総務文教厚生常任委員会 観光建設農林常任委員会
20日	観光建設農林常任委員会 行政調査（南紀白浜空港）
31日	議会運営委員会

6月1日	白浜まつり神社式典 献湯祭
2日	国道42号線改良促進協議会 (会計監査)
8日	第2回定例会第1日 議会運営委員会 白浜町議会新型コロナウイルス 感染症対策会議 全員協議会
9日	きのくに和歌山文化祭実行委員会
17日	第2回定例会第2日 議会運営委員会
18日	第2回定例会第3日 議会運営委員会
22日	第2回定例会第4日 議員定数等検討特別委員会 総務文教厚生常任委員会 観光建設農林常任委員会
23日	第2回定例会第5日 議会広報特別委員会
28日	田辺周辺広域市町村圏組合 (会計監査)
29日	県市町村振興協会評議員会 (和歌山市)
30日	西牟婁郡町村議会議長会 (田辺市)



次回日程

次回定例会（9月）の会期は、9月7日（火）から22日（水）までの予定です。

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31 議会運営委員会	9/1	2	3	4
5	6	7 開会日 第1日 提案説明等 10:00~	8 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	9	10	11
12	13	14	15	16 第2日 一般質問 10:00~	17 第3日 一般質問 10:00~	18 (休会)
19	20	21 第4日 議案審議 10:00~	22 閉会日 第5日 議案審議 10:00~	23	24	25

9月議会の日程は8月31日（火）開催予定の議会運営委員会で決定します。
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

編集後記

例年より3週間も早い梅雨入りとなり、また、昨年より続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大により暮らしにストレスを感じる日々が続いています。田辺保健所管内での感染者の報告も少なくなり、和歌山県内の入院患者数の減少とともに、不安も少しずつ解消されていくものと思われませんが、今まで通りの手洗い、マスク、手指の消毒の徹底をお願いします。白浜町では関係団体と連携し、オール白浜の態勢で感染予防に万全の態勢で取り組み、7月1日から「海開き」をすることとなりました。この議会だよりがお手元に届くころにはオリンピックが開催されたり、夏休みで観光客が増えたり、お盆で身内が帰省することも考えられますが、十分な感染症対策を講じていただきますようお願いしたいと思います。（堅田）

お知らせ

令和2年9月議会から、議会広報の一環として一般質問の様子をFMビーチステーションにて放送しております。（76.4MHz）
多くの方に聞いてもらえるよう、また、新型コロナウイルス感染症対策として議会の傍聴をお控えになる方にかんがみまして、限られた時間ではございますが、放送を始めております。放送予定については、議会のホームページ等でもお知らせしていますので、是非聞いてみてください。

議会広報特別委員会

委員長 長野 莊一
副委員長 堅田 府利
委員 廣畑 敏雄
小森 一典
溝口 耕太郎

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

